※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	(学)理数化学 特論①	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	i 版 化学基礎　（啓林館）						
副教材等	大学入学共通テスト対策　チェック＆演習　化学基礎（数研出版） センサー総合化学 3rd Edition（啓林館） サイエンスビュー化学総合資料（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実験・観察・講義などを通じて物質に親しむとともに，自然に対する関心や探究心を高め，化学の理論や物質の性質について理解を深めてください。そのために，高度な理論も必要に応じて学習をします。また，知識を定着させるため，課題の提出や演習，小テストなどを随時行います。

2　学習の到達目標

1.化学が物質を対象とする化学であることや,化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。
2．原子の構造および電子配置と周期律の関係を理解できる。
3.化学反応の量的関係,酸と塩基の反応および酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに，日常生活や社会と関連づけて考察できる。
4．上記の目標を達成するために探究活動を行い，学習内容を深めるとともに，化学的に探究する能力を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観察，実験を行い，基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録，整理し，科学的に探究する技能を身に付けている。化学的な事物・事象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見出し，探求する過程を通して，事物を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	化学的な事物・事象について関心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	物質の構成	原子の構造と元素の周期表 化学結合	a: 物質についての探究の方法を習得し，得られた結果を的確に記録，整理している。物質の構造・成分・化学結合と物質の性質に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 b: 物質の構造・成分・化学結合と物質の性質を関連づけて考察し，導き出した考えを表現している。 c: 物質の構造・成分・化学結合と物質の性質に関心をもち，意欲的に探究しようとする。	学習状況 定期考査	ノート・ワークシート 観察・実験	探究活動 ノート・ワークシート
後期	物質の変化	物質量と化学反応式 酸と塩基	a: 物質量と化学反応式，酸と塩基，酸化還元反応についての探究の方法を習得し，得られた結果を的確に記録，整理している。物質量と化学反応式，酸と塩基，酸化還元反応に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 b: 物質量と化学反応式，酸と塩基，酸化還元反応について実証的，論理的に考察し，導き出した考えを表現している。 c: 物質量と化学反応式，酸と塩基，酸化還元反応に関心をもち，意欲的に探究しようとする。	学習状況 定期考査	ノート・ワークシート 観察・実験	探究活動 ノート・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度